

6月23日
仙北市

白寿のお祝い おめでとうございます



6月23日、堺正男さんが白寿を迎えられ、市からお祝いと花束が贈呈されました。

6月19日
総合情報センター

「やさしいの花」第5回定期朗読公演 心温まる朗読を披露

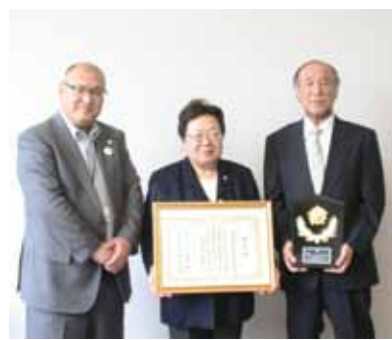


観客は読み手の趣向を凝らした朗読に聞き入っていました。

6月19日、仙北市総合情報センターで新潮社記念文学館ボランティア「やさしいの花」による定期朗読公演が開催されました。5回目を迎えた今回の公演は『春・桜くそして未来へ』をテーマに絵本や詩を中心とする第1部と春にちなんだ文学作品を読み上げる第2部に分けて行われました。「やさしいの花」のメンバーの方々は作品の世界や登場人物を声の抑揚や身振り手振りなどで感情豊かに表現し、訪れた約40人の観客を楽しませました。

6月11日
東京都

仙北地区少年保護育成委員会 「全国少年補導功労団体表彰」受賞



受賞は全国で10団体。長年の活動が認められ、栄える受賞となりました。

6月11日、平成26年度全国少年補導功労団体の表彰式が東京都、明治記念館で行われ、「仙北地区少年保護育成委員会（荒木和子会長）」が表彰を受けました。昭和36年結成当初から、長年にわたり委員会が取り組んできた、積極的な青少年非行防止活動が認められ、この度の受賞となりました。

6月8日
田沢湖畔

全国鳴砂サミットINたぎわ湖開催 貴重な砂浜保全目指す

6月8日、全国鳴砂サミットINたぎわ湖が、田沢湖畔思い出の瀧分校を会場に開催されました。

鳴砂の保全活動を行う行政や団体、19団体が加盟する全国鳴砂ネットワークが主催のこのサミットは、すばらしい自然・文化遺産である鳴砂を、後世に伝える目的で開催されています。



会場では全国から集まった皆さんが、一堂に会し情報を交換し合いました。

当日は、地元、田沢湖ぎつくばらんの会の千葉薫さんと、田沢湖クニマス会議の三浦久さんの基調報告や大阪市立大学大学院准教授原口強氏の基調講演「田沢湖・白浜、鳴砂復活の処方箋」と題した講演が行われ、各団体の取り組みについて、情報を交換できる貴重な機会となりました。

地域の話

仙北市のきこごころをあつめて

「野球部の現状と 夏の大会に向けた抱負」

角館高等学校野球部
監督 湯澤 淳

4月に新入生24名が入部し、総勢73名（男子部員70名・女子マネージャー3名）の角館高校野球部となりました。たくさんの生徒たちが本校に入学してくれたことを本当に感謝しております。これも地域の方々の支えと応援があったからこそと切に感じております。チームの状態ですが、課題をもって臨んだ春季大会から大きく変わってきました。何が足りないかを選手と考えながらここまでやってきましたが、それが少しずつ埋まってきているのを感じています。昨夏・昨秋の「あと一歩」を乗り越えるための練習は十分にできました。これまでの二度の悔しさは、選手たちを大きく成長させてくれました。夏の大会では、その成長した姿を、いつも応援していただいている地域の皆様にお見せしたいと思います。何とぞ、変わらぬご支援をよろしく願います。



角館高校野球部を地域で応援 角館高校野球部 地域サポーターが バッティングマシンを寄贈

角館高校野球部の活躍をサポートする心強い応援団「角館高校野球部地域サポーター」がこの度、最新式バッティングマシンを寄贈しました。

私ども角館高校野球部地域サポーターは、角館高校野球部にぜひ甲子園に行ってもらいたいという強い思いで、昨年11月にサポーター事務局を立ち上げ、多くの方々からご協力いただきながらサポーター加入促進活動を進めて参りました。お陰様で、平成26年3月末現在で228事業所並びに個人の皆様にサポーター登録をしていただき、多額の支援金を賜ることができました。初年度支援金を活用しまして、野球部側から要望がありました最新型工式バッティングマシン「トップガン」を寄贈いたしました。近い将来必ずや角館高校が甲子園に出場し、校歌を高らかに歌ってもらうためにも、今後も精力的に活動を続けて参ります。皆様の変わらぬ

角館高校野球部地域サポーター事務局から
ご支援を賜りますようお願い申し上げます。よろしくお願い申し上げます。
角館高校野球部
地域サポーター事務局
代表 菅原 正
問合せ 仙北市角館町下菅沢
195-1(株)丸栄堂内
☎090-2987-6138
(副代表 藤原 悟)
Facebookアドレス
https://www.facebook.com/groups/288061078030430/
◎今後の大会スケジュール
第96回
全国高等学校野球選手権秋田大会
7月11日(金)～22日(火)

6月15日
秋田市

民謡民舞秋田地区連合大会 藤原みさ子社中が優勝

6月15日、第37回民謡民舞秋田地区連合大会が秋田市文化会館で開催されました。藤原みさ子社中8人は、「秋田おぼこ節」を踊り、民舞の部で見ごと2年連続の優勝を果たし、10月24日から日本武道館でおこなわれる全国大会に出場します。



一般財団法人日本郷土芸能民謡協会主催「民謡民舞秋田地区連合大会」で2年連続の優勝に輝いた藤原みさ子社中の皆さん。全国大会でも活躍が期待されます。

6月1日
角館中学校体育館

第10回オープントーナメント武心会空手道選手権大会 兼第8回東北ウエイト制ジュニア空手道選手権大会 迫力の試合展開に歓声



一般上級無差別級決勝戦。迫力の攻防（川畑元選手対田川颯選手）

第10回オープントーナメント武心会空手道選手権大会兼第8回東北ウエイト制ジュニア空手道選手権大会（実戦空手道武心会主催）が6月1日、角館中学校体育館で開催されました。東日本大震災チャリティ大会として行われたこの大会には東北各県からあわせて24団体、237人が参加し、熱戦を繰り広げました。

大会成績（市内選手・敬称略）
第8回東北ウエイト制ジュニア空手道選手権大会 ▶幼年/年中・年少の部敢闘賞 小山田輝（にこにこ保育園）▶小学1・2年女子軽量級準優勝 細川雅央（神代小）▶小学2年男子軽量級3位 高橋諒真（西明寺小）▶小学2年男子重量級3位 大岡正宗（生保内小）▶小学3年男子軽量級3位 岩田晴（角館小）▶小学5・6年女子重量級3位 佐々木真理香（神代小）▶小学5年男子軽量級3位 高橋慶多（西明寺小）▶小学5年男子重量級準優勝 細川大雅（神代小）▶小学6年男子軽量級3位 畠山幸輝（角館小）▶小学6年男子重量級3位 佐々木竜生（角館小）
第10回オープントーナメント武心会空手道選手権大会 ▶中学2・3年男子軽量級3位 千葉悠也（神代中）▶中学男子重量級優勝 田川礼（角館中）▶高校男子軽量級準優勝 畠山勇輝（六郷高）▶高校男子軽量級3位 木元美禪（大曲農業高）▶一般女子優勝 湯澤瑠奈（角館高）▶一般上級無差別級準優勝 田川颯（六郷高）

5月29日
長崎県大村市

大村市姉妹都市提携35周年記念式典 交流の絆を永遠に



大村市長から友好親善に多大な貢献をされてきた
戊辰会へ感謝状が進呈されました

昭和54年7月、仙北市（旧角館町）と大村市が姉妹都市提携をして今年で35周年を迎えました。これを記念し5月29日、大村市で姉妹都市提携35周年記念式典が開催されました。

仙北市からは、門脇市長、青柳市議会議長をはじめとした市関係者、戊辰会、飾山囃子団体など36人が参加し更なる交流の絆を深めました。

300人余りの大村市民からの歓迎を受けた記念式典では、松本大村市長が「戊辰の役で活躍し戦死した大村藩士を、毎年手厚くご供養いただいていることに感謝します。これまで物産展の開催や中学生の相互交流事業など様々な分野の交流を通して、相互市民の友好の輪を広げてきました。35周年を契機に今後も市民交流の絆を深めていきたい」

とのあいさつを受けて門脇仙北市市長が「東北地方で唯一政府軍であった佐竹藩に大村藩士が遠路援軍として駆けつけ、角館の武家屋敷や歴史的町並み、多くの文化遺産を命を盾にお守りいただきました。また、仙北市では昨年8月9日の集中豪雨で経験のない大規模土石流が発生し6人の市民が亡くなりました。大村市の皆様からは災害が発生した直後からご支援をいただいたことに心より感謝します」とお礼のあいさつを述べました。

また、経済文化交流、友好親善に多大な貢献をされた「大村市姉妹都市親善協会」、大村市「吾往会」、角館町「戊辰会」に両市から感謝状が贈呈されたほか、戊辰会の熊谷佳穹会長と大村市富松神社宮司の久田松和則氏による記念講演が行われ、姉妹都市提携の歴史的背景にある戊辰戦争と両市にまつわる貴重なお話がありました。

記念式典に引き続き行われた祝賀会では相互の親善を深め合い、アトラクションでは飾山囃子をはじめとした秋田民謡を披露し大勢の参加者を魅了しました。



戊辰戦争と両市にまつわる貴重な講演をした熊谷戊辰会会長

姉妹都市提携の由縁

旧角館町（仙北市）、大村市の姉妹都市提携の背景となったのは戊辰の役（1868年）です。東北で唯一の新政府側だった佐竹藩は、周囲の旧幕府側の攻撃を受けて孤立し、大村藩に援軍を求めました。大村藩士326人からなる北伐隊は角館に進軍し、庄内藩と激突の末退け、後に角館を守りぬいた功績が評価され、新政府から章典を贈られるなどの活躍をしました。しかし、大村藩の戦死者は7人を数え、遺体は郷里大村へ帰ることなく常光院（角館町）境内に眠ったのです。

このなかには、15歳の少年鼓手、浜田謹吾少年も含まれていました。謹吾少年の遺体の軍服には、母チカが出陣の際に詠んだという和歌が縫い込まれていました。



浜田謹吾少年像は角館神明社境内にも建立されています

「二葉より手くれ 水くれ 待つ花は君の為にぞ さげやこの時」
謹吾少年の勇敢な活躍とその母の子に寄せる心情は往時の人々の涙を誘い、一世紀以上経過した今日、歴史を遡って姉妹都市縁組実現に欠くことのできない大きな出来事となっています。

大村市花菖蒲まつり会場 姉妹都市交流仙北市物産展

6月6日～8日
長崎県大村市



仙北市特産品販売ブース。大好評で完売

6月6日から8日、姉妹都市の長崎県大村市、大村公園で行われた花菖蒲まつりで仙北市物産展が開催されました。

仙北市の特産品は、花菖蒲まつりに訪れる観光客や大村市の皆さんに大好評で、大村市役所や大村市姉妹都市親善協会などのご協力もあり完売となりました。
また、花菖蒲まつりのイベントでは、国の重要無形民俗文化財に指定された大村の郡三踊（寿古踊・沖田踊・黒丸踊）、飾山囃子が披露され、会場は大いに盛り上がりました。
なお今年は、長崎県で長崎がんばらんば国体、長崎がんばらんば大会が開催されます。

6月11日
市役所西本庁舎

ハラルセミナーin仙北 異文化学び、相互理解へ

6月11日、西木総合開発センターでハラルセミナーin仙北が開催され、市内の農家民宿の方々を中心として宿泊業や飲食業の従事者など約60人が参加し、講師の一般社団法人ハラル・ジャパン協会の佐久間朋宏代表理事からイスラム圏外国人旅行者の受け入れに関する注意点、日本国内でのイスラム圏外国人旅行者向けサービス・食品加工の取組み例などを学びました。参加者は異文化へ



比内地鶏など秋田ならではの特色を活かしたお土産作りの話も出ました

の相互理解のために、と熱心に講義を受けていました。

6月8日
東京都

第28回東京田沢湖会総会 懐かしの思い出語り



ふるさとの民謡「生保内節」にあわせて踊り出す参加者

6月8日、ルポール麹町（東京都千代田区）を会場に、第28回東京田沢湖会総会が開催され、約80人が出席しました。総会では国民文化祭総合プロ



国民文化祭をピーアールした西木正明さん

デューサーを務める、直木賞作家の西木正明さんも来賓として出席し、国民文化祭をピーアールしました。

また、総会に引き続き行われた懇親会では、出席者らが互いの近況や懐かしい思い出に花を咲かせ、会場は大いに盛り上がりました。

会場では仙北市産の野菜や山菜、漬物などが販売され、ふるさとの味を懐かしむ方々に大好評で、即完売となりました。



Kakunodate Film Commission



松本家前で記念撮影。修学旅行（職場体験）を通じ仙北市を知り、また再度訪れてほしいですね

仙北市では毎年、修学旅行で訪れた中学生の職場体験を行っています。6月5日には、北海道札幌市立伏見中学校193人の生徒が17グループに分かれて訪れました。かくのだてフィルムコミッションは、13人の生徒さんを担当しました。
映画「たそがれ清兵衛」「隠し剣鬼の爪」、CM「ロツテガムフィッツ」等の撮影が行われた武家屋敷通りを案内しました。どのように撮影が行われたか、どんな俳優さんが出演されたのか、何を求めて撮影場所を選ばれたのか等を実際に撮影の舞台となった建物・場所ですべて話をさせていただきました。
生徒さんからは、「やりがいを感じるのとはどんな時ですか」「心がけていることはありますか」等たく

さんの質問がありました。「苦勞して撮影支援した作品が公開されて、たくさんの方に観ていただいた時にやりがいを感じます」「どんな撮影場所が求められているのかを的確に伝える事を心がけています」等と応対している時に生徒さんが目を輝かせて聞きながらメモをとる姿が印象的でした。

このような体験活動を行う修学旅行が生徒さんにとって、とても意義のある事と感じました。生徒さんたちには将来、また仙北市を訪れてほしいと思いましたが、仙北市の素晴らしい家族や周囲の人たちに広めてもらえるキッカケになればと感じた1日でした。